

安全衛生活動情報

住友電装株式会社 理念

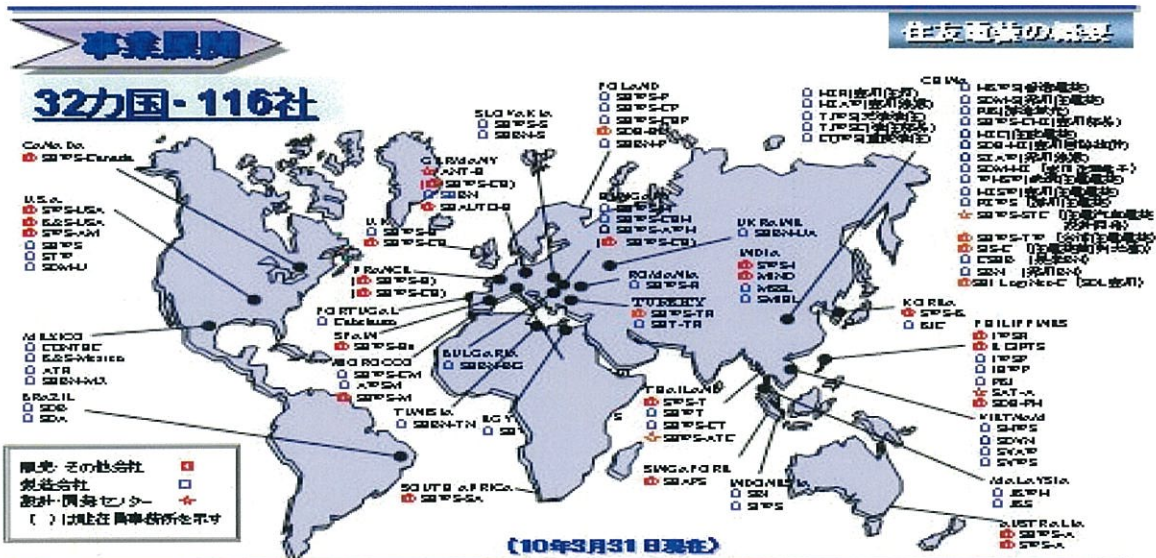
「安全はすべてに優先する」

1. 会社概要

- 本社所在地 四日市本社／東京本社
- 設立 1917年12月22日
- 資本金 200億4,200万円（2010年7月1日）
- 事業内容 自動車用ワイヤーハーネス等電装品の製造販売
- 関係会社 32カ国 116社
- 従業員数 (国内単独)約 5千名 (国内関係会社)約 5千名
(全世界含む)約 15万名 (2010年3月末現在)
- 売り上げ 3,478億円(2010年3月期) 単独

2. 事業展開

【32カ国 116社】



3. 安全衛生活動内容

【主な重点取組み】

- ◆トップの率先垂範
 - ・「ご安全に」の励行
 - ・トップ巡視
 - ・災害発生連絡(24時間以内に社長報告)
 - ・特別安全活動(レベルⅢ発生部署:3ヶ月間)
- ◆教育・訓練の充実
 - ・危険擬似体感キットのグローバル普及
 - ・「止める、呼ぶ、待つ」の徹底
 - ・新人教育の徹底
- ◆海外安全対策推進
 - ・現地自主安全診断の展開
 - ・設備安全カバー設置の徹底(切圧機・圧着機・切断機等)

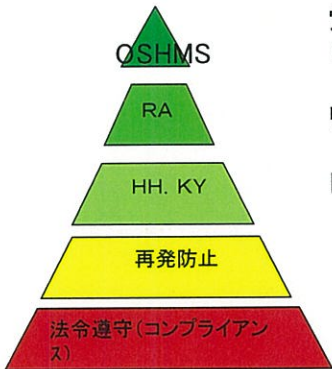
【取り組み事例】

① 危険擬似体感キットの展開

・体感キットは、過去の災害設備を設定し、グローバル展開を推進中。

[回転体巻き込まれ]	[ホール盤手袋巻き込まれ]	[圧着機指挟まれ]	[落下・衝撃]
			
(6社)	(7社)	(16社)	(8社)
[腰痛体感錘]	[目の危険]	[電気 ショート]	[トラッキング]
			
(7社)	(9社)	(7社)	(4社)
[電気過負荷]	[切断機指挟まれ]	[フォークリフト足挟まれ]	危険擬似体感 DVDを各社に 配布し、視聴 教育に活用
			
(4社)	09年度 追加キット		

② OSHMSに沿った仕組みの整備とリスクアセスメントの充実

	<p>労働安全衛生マネジメントシステム (OHSASを含めグローバルスタンダード)</p> <p>リスクアセスメントによる危険源の低減</p> <p>ヒヤリ・KY→「人依存型」</p> <p>「経験型」</p> <p>法遵守のみ</p>	<p>鈴鹿製作所、茨城工場 北陸ハーネス(8月認証申請) 海外19社認証</p> <p>国内関係会社</p> <p>↑</p> <p>海外関係会社</p>
<p>◆労働安全衛生マネジメントシステムの認証取り組み(国内)</p> <p>OSHMSによる国内管理体制は、06年鈴鹿製作所、08年茨城工場で認証取得し、09年に北陸ハーネスで取り組みを進め、10年8月に認証申請。</p> <p>国内関係会社8社は、住友電装での認証ノウハウをベースに、OSHMSに沿った仕組みを構築し、リスクアセスメントの充実と安全衛生管理強化をはかる。</p>		

【リスクアセスメント】 鈴鹿電線工場取組み紹介

設備・付帯作業 残留リスクの見える化

リスクアセスメント		(A) 災害発生の可能性		(B) 危険に近づく頻度		(C) 災害の大きさ		(D-1) 安全対策・機械的・電気的の程度		(D-2) 化学物質・有害物質等の程度	
危険源特定・見直し評価表		可能性	見直し	頻度	見直し	可能性	見直し	安全対策内容	見直し	安全対策内容	見直し
課・工場名	鈴鹿電線製造課	① 非常に高い (避けられない)	6	① 多い (頻回)	4	① 重大・高被害	10	① 安全対策無し又は不十分	0	① 安全対策無し又は不十分	0
機名	自動車線	② 高い (避けられないが対策あり)	4	② 時々 (1-3回/週)	2	② 中被害	6	② 安全対策あり(作業員による対策)	-1	② 各種対策に基づき表示、表示	-1
作業内容	自動運転	③ ある (避けられないが対策あり)	2	③ 少ない (1-2回/週)	1	③ 低被害	3	③ 安全対策あり(ロープ・ネット等)	-2	③ 保護具着用・通風	-2
担当者	伊達(印) 清水(印) 佐野(印) 井筒(印)	④ 低い (避けられないが対策あり)	1			④ 軽微	1	④ 加へ、警報装置が不発に	-3	④ 防護装置の設置	-3
評価者								④ 加へ、警報装置の設置が不十分	-6	④ 発生時の対応	-6
作業名	機械運転作業							④ 加へ、警報装置が不発に	-8	④ 発生時の対応・自動化	-8
作業日	2008/07/01							④ 加へ、警報装置が不発に	-10	④ 警報装置の設置(自動化)	-10

RA(リスクアセスメント)管理作業区域

安全のポイント

作業内容：ロス(芯線、PVC)廃却方法
目的：ロス廃却時の腰痛防止を図る

1. ロス廃却
 - 1) ロス廃却はオーバーフロー(1区分、芯線で1区分とし、1箱60kgを目安とする)
 - 2) ロス廃却方法
 - 1) ロス廃却を一時的に置く
 - 2) ロス廃却を一時置き場から持ち上げる時は腰を痛らしてはならない(必ず持ち上げる)
 - 3) 中継での持ち上げ禁止

= 指差呼称ヨシ!! =

③ 海外安全自主診断の実施

狙い：海外関係会社の管理、点検レベルの底上げと弱点強化

安全自主診断の運用フロー図（海外関係会社）

安全評価項目の統一

09年上期、全4部門で統一

↓

自主点検による診断

09年度下期、全部門にて海外関係会社に対し、実施(72社、88拠点)

↓

継続的な診断、点検

安全評価シート作成

安全評価シート配信

海外事業体評価表受信

安全評価の実施

評価結果の判定

対応策の検討

問題点の是正

是正部分の再評価

各社にあった活用を検討、運用

安全手法や管理ツールの提供

評価結果の統計分析

海外への分析結果配信

少なくとも1回/年の事業本部報告

《各事業本部、安全管理部》

《海外関係会社》

[診断評価レーダーチャートによる弱点の見える化]

72社 88拠点平均

各社診断した結果をレーダーチャートに表し、弱点強化に取り組む。